

○事業所名	まなび		
○保護者評価実施期間	2025年 1月15日		～ 2025年 2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年 1月15日		～ 2025年 2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・児童指導員といった専門職が療育・支援に関わっている。	一人ひとりのアセスメントを各専門職の視点で行うことができている。 お迎え時にフィードバックの時間を設けている。	客観的な評価、アセスメントを行い、強みを活かした支援・弱みに対する環境調整や配慮を行っていく。
2	児童発達支援と放課後等デイサービスの2事業を運営している ので、一人のお子さんに関して長期間関わるができる。	就学前から細やかな関わりを行うことができ、就学時に必要な準備も利用児のペースに合わせて行うことができる。 就学に向けての引き継ぎだけではなく、入学後も保護者や先生と細かく引き継ぎやり取りを行うことができる。	ライフステージが変わった際に、保護者や就学先等へ情報提供を行う。
3	外部機関 講師を呼び多種類の活動を設ける事が出来ている。 太鼓・音楽・アート活動、英語、体操教室など	発表会を行い音楽、アート、太鼓などの練習の成果を保護者の方、関係機関の方を招待している。	行える活動を継続して回り、新しい活動も機械があれば取り入れて行く。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方への非常時等への対応（緊急時・感染症等）に対する周知・発信不足。 訓練等実施していることでの発信不足。	防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、実施内容の周知機会が不足。	防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認、実施内容、当日の様子をお迎え時にフィードバックしていく。
2			
3			